

平成29年度包括外部監査結果に対する措置状況（市長事務局）

監査テーマ: ①出資団体の財務事務の執行及び経営管理について
 ②八戸市立図書館及び八戸市博物館にかかる財務事務の執行について

令和元年10月末現在

指摘区分		報告書 ページ	所管課名	指摘事項名	指摘概要	措置の実施状況	措置 状況
結果	意見						
	1	27	総合健診センター (総合保健センター推進室)	医療機器機種選定の見直しについて	医療機器の購入に関する制度設計を検証し、機種や業者選定における公平性及び取引の透明性を担保しつつ、価格面での競争性が発揮される仕組み作りの検討が望まれる。	平成30年度から、機種選定時には同レベルの医療機器の有無及びその比較を審査事項とするよう、機種選定委員会要綱へ規定した。	措置済
	2	31	総合健診センター (総合保健センター推進室)	賞与引当金の計上について	決算書に賞与引当金の計上は行われていない。職員給与規程の改正も含め、引当金額の正確な見積り計算を行い、貸借対照表の負債の部に計上することが望ましい。	平成30年度決算書から、賞与引当金を計上した。	措置済
	11	52	社会福祉事業団 (福祉政策課)	利用者負担金収入の取り扱いについて(うみねこ学園)	うみねこ学園では、利用者負担金を現金で受領した際に会計処理を行っておらず、預金口座への預入を行った時点で会計処理を行っている。このため、金庫の現金が会計帳簿に計上されない状態となっている。 現金預金勘定として一本化されている勘定科目について、現金勘定と預金勘定を区分して、現金回収時と預金口座への預入時の仕訳を区分する必要があり、現金を回収した際の会計処理のあり方を見直す必要がある。	平成30年度から、回収した現金は、経理規程に基づき、毎日、金銭残高金種別表を作成し、現金残高との照合を行った上で会計責任者に報告するよう、事務処理方法を見直した。 また、令和元年度から、現金回収時と預金口座への預入時の会計処理について、現金科目を追加するため、経理規程を改正した。	措置済
	14	70	なんごうプラザ (南郷事務所)	宿泊施設の稼働率の向上策について	稼働率を向上させるため、これまで割合として少なかった観光利用や隣接する南郷スポーツ施設「カッコーの森エコーランド」を利用する合宿利用等により利用促進を図ることが望まれる。そのためには、他の事業者と連携し、観光利用等の促進を図ることが重要である。	令和元年度から、両施設の利用団体・利用者向けに当施設のパンフレットを備え付け、低価格の合宿料金を含めた当施設の情報提供・PRを実施した。	措置済
	20	84	VISITはちのへ(旧ユートリー) (観光課)	職員の配置について	ベテラン職員が多く、世代交代を考える時期が近づいてきており、今後の人員配置について、また宿泊事業に関して外部委託する方法も取りうるか、検討する必要がある。	平成31年4月1日の八戸観光コンベンション協会、八戸市物産協会との合併に伴い、世代構成のバランスが改善した。 また、宿泊事業に関しても、フロント人員、清掃スタッフともに若年世代を2名採用した。また現状では日によって必要な清掃スタッフ数や作業時間が一定でなく臨機応変な対応が求められ、委託は難しいものと考えており、当面は自社での運営を継続する。	措置済
	22	87	VISITはちのへ(旧ユートリー) (観光課)	公益目的支出計画の実施期間について	公益目的支出はこれまでおおむね計画どおりに実施できているが、93年という実施期間はユートリーの建物の耐用年数からみて圧倒的な長期間であるため、県とも協議のうえ、公益目的支出計画の変更を検討する余地がある。	平成31年3月に、DMO移行に伴う公益目的支出計画の変更申請を行い、実施期間を49年間とした。	措置済